

食料自給率

わたしたちが毎日食べている食べ物のうち、どのくらいが日本で作られているのでしょうか。それを表すのが、食料自給率です。

日本の食料自給率は、カロリーで計算すると、およそ三十八パーセントです。つまり、わたしたちが食べている食べ物の六わり以上を、外国からの輸入にたよっていることになりました。

特に、パンやめん類の原料になる小麦や、とうふやみその原料になる大豆は、そのほとんどを輸入しています。米の自給率は高いものの、食生活が変わり、米を食べる量がへってきたことも、自給率が低くなった理由の一つです。その一方で、日本の農業で働く人の数はへり、高齢化も進んでいます。

外国からの輸入にたよっていると、その国で不作になったり、争いが起きたりしたときに、食べ物が手に入りにくくなるおそれがあります。

わたしたちにもできることがあります。地元でとれた食べ物を選んだり、食べ残しをへらしたりすることも、日本の食を守ることにつながるのです。

1 カロリーで計算した日本の食料自給率は、およそ何パーセントですか。

およそ

三十八

パーセント

2 ほとんどを輸入にたよっているものとして、本文に出てくるものはどれですか。

ア 米

イ 小麦や大豆

ウ 野菜

3 食料自給率が低くなった理由として、本文に書かれていることを一つ書きましょう。

食生活が変わり、米を食べる量がへってきたこと。

4 輸入にたよっていると、どんなおそれがありますか。

その国で不作になったり、争いが起きたりしたときに、食べ物が手に入りにくくなるおそれ。

5 筆者が、わたしたちにもできることとしてあげているものはどれですか。

ア 地元でとれた食べ物を選ぶ。

イ 外国の食べ物だけを食べる。

ウ 米を食べないようにする。

おうちの方へ

- 家の冷蔵庫の食品の産地を調べてみると、輸入の多さを実感できます。